

入学式 告辞

菜の花が遥かに筑後川を彩り始めた今日のこの佳き日に、ご来賓の皆様のご臨席を仰ぎ、平成29年度久留米工業高等専門学校入学式を挙げていただくことは、教職員一同にとって、慶びの限りであります。ご多用中のところ、ご臨席賜りましたご来賓の皆様には、高いところからではありますが、厚く御礼申し上げます。

本科並びに専攻科に入学された皆さん、本科に編入学された留学生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは、厳しい競争を見事に勝ち抜いて、わが久留米高専への入学を果たされました。これまでの皆さんのご労苦とご努力に深く敬意を表します。

また、これまで入学された皆さんをこれまで常に見守り、支えて来られました保護者の皆様、本日のお慶びは如何ばかりかと拝察いたします。重ねてお祝い申し上げます。

さて、入学された皆さんは、いま、久留米高専での学業を始めるに当たって、それぞれに希望や抱負を胸に秘めておられることと思います。皆さんは、この尊い「初心」をこれからも時々思い返しながらか、所期の目的を達成するためにしっかりと学業に励んでください。

久留米高専は、その前身の久留米高等工業学校の創設を創基として、そこから75年余、現在の工業高等専門学校の創立から50年余の歴史を刻んでおります。皆さんは、輝かしい歴史と伝統を持つわが久留米高専の一員となったことを誇りと思うと同時に、久留米高専の伝統に新たな輝きを付け加える気概、すなわちトラディション・プラスのマインドを持って、勉学に、そして課外活動に勤んでください。

久留米高専では、本年度より各専門学科と専攻科に「入学者受入の方針(アドミッションポリシー)」、「教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)」、「卒業認定・学位授与の方針(ディプロマポリシー)」という3つの方針を策定しました。これは、「自立の精神と創造性に富み、広い視野と豊かな心を兼ね備えた、社会に貢献できる技術者の育成」という久留米高専の教育理念を実現し、「実践的、創造的技術者の育成」を趣旨とする教育目的・教育目標を達成するための道筋を具体的に述べたものであります。この3つの方針は、『学生便覧』に掲載されております。入学された皆さんも、新たに策定された久留米高専の教育に係るこの3つの方針をよく読み、理解し、本校での学業の道標としてください。

さて、ただいまご紹介しました久留米高専の教育理念である「自立の精神」(Spirit of Independence)、「創造性」(Creativity)、「広い視野」(Broad Vision)、「豊かな心」(Humanity)、そして「社会貢献」(contribution to society)のいずれもが、本校の教育の根幹をなす大切な考え方であり、皆さんは、5年間または7年間をかけてこれらの理念を体得していかなければならない訳であります。ここで、このうち「広い視野」(Broad Vision)について、少しだけお話ししておきたいと思っております。

久留米高専の学生としての最大の責務は、高校初年程度から大学工学部卒業レベルまでのエンジニア育成のためのプログラムに沿って一般教養科目及び専門科目を一步ずつ着実に修得していくことにあることは言うまでもありません。その際の学習は「広い視野」から行われることが肝要であります。

ご承知の通り、久留米高専は国立高等専門学校機構に属しております。国立高専は、北は北海道から南は沖縄まで全国51の高等専門学校から成り立っております。その意味で、国立高専そのものが、全国的な、広い視野を持つことを運命付けられていると言っても過言ではありません。

加えて、国立高専機構の中期目標・中期計画には、「グローバルな視野を持って社会の諸課題に立ち向かう、科学的思考を身につけた実践的・創造的技術者を養成すること」、すなわちグローバル人材の育成が掲げられています。現に、久留米高専では、本日の入学式でもお分かりのように海外からの留学生を受け入れております。（本年度はマレーシアから2名、モンゴルから1名であります。）また海外の大学等の高等教育機関との間で学術交流協定を結び、積極的に国際交流を進めております。皆さんも、是非ともグローバルな視野を持つエンジニアになることをめざしてください。

さらに、国立高専には、社会・産業・地域のニーズに基づいてエンジニアの育成を行うことが求められています。久留米高専の教育・研究は、社会・産業・地域の状況や動向と不可分であり、皆さんは、それらを幅広く見ることができる目と力を養ってください。

この他、「広い視野」は、久留米高専における専門分野を横断した教育や男女共同参画の推進などによっても培われることになります。

付言すれば、この「広い視野」は、多様性（diversity）ともつながってくるかと思います。今日の技術科学の世界においては、「多様性」は生物多様性だけではなく、情報社会における「集合知」（collective intelligence）という新たな角度から、創造性との連関が注目され、盛んに論究が行われております。

本日入学された皆さんが、久留米高専において、「広い視野」という土台の上で「創造性」を磨き、「豊かな心」を育み、国内だけではなくグローバルな舞台上で活躍する実践的、創造的エンジニアとして成長していかれることを心より願い、平成29年度久留米工業高等専門学校入学式の校長告示いたします。

平成29年4月6日

独立行政法人 国立高等専門学校機構
久留米工業高等専門学校長
三川 譲二